



希望の鐘 The Bell of Hope

The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan



川越ワイズメンズクラブ会報

No. 29-04

10月号

発行 2026 年10月 13日

Chartered 1998

川越クラブ会長: 利根川 太郎 主題「ワイズメンの原点に還って楽しもう。」

～楽しく交流・川越YMCAの支援・国際交流の充実～

副会長 松川 厚子

国際会長: ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク(ノルウェー)

会 計 吉田 公代

主題 “Waking the Sleeping Gnat with Blue Music”

『ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる』

スローガン “YMI-Empowering Life” 『YMI-人生を力づける』

書 記 吉野 勝三郎

アジア太平洋地域会長: ラチャン・マニカーン(タイ)

主題 “Awakening the Asia Pacific Area with Blue Music”

『アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる』

スローガン “Empowering Communities, Inspiring Generations”

『地域社会を力づけ、世代を鼓舞する』

東日本区理事: 山下 真 (十勝クラブ)

主題 『挑戦なくして進化なし』

スローガン 『響け 挑戦のブルーミュージック』

10月の聖句

我収穫は多いが、働き手が少ない。
だから、収穫のために働き手を送って下さるように、
収穫の主に願いなさい。

(新約聖書 マタイによる福音書 9章 37節)

**The harvest is plentiful, but the labourers,
Pray therefore the Lord of the harvest to
send out labourers into this harvest the
appointed weeks of the harvest.**

(Matthew 9:37)

(9月26日例会出席率)

出席者 8 名 クラブメンバー出席率 80%

川越クラブ 8月例会議事報告

会長 利根川太郎

日時:2026 年 9月 26 日(土) 14:00~16:00

会場: 埼玉 YMCA 川越センター

9月例会報告

利根川太郎

8月27日から10月2日まで37日連続で雨が降り、
連続降水日数の統計開始以来最長記録更新だそうです。
この間には千葉豪雨があり、台風25号の被害があり、
秋雨がまるで梅雨末期のような様相を呈して、温暖化
の影響を強く実感する年となってしまいました。

川越クラブは9月26日(土)に、山本剛史郎さんの熊
本被災地訪問報告の例会を持ちました。報告は既に8月
のブリテンに掲載されていますので、詳しくはそちらを読
み返して頂ければと思いますが、実際に訪れた様子を口
頭で伺うと、現地のたいへんさや被災地から近距離の場
所でも被害が少なく通常に近い日常が送られている様子
などが、実感を持って伝わって参りました。

埼玉県でも、内陸の断層型地震についてハザードマッ
プが作られています。関東平野北西縁断層帯をみると
ごく近接した地域でも震度に大きな差があるようです。
自然災害が多く発生していることもあり、身近な話題として話
が尽きませんでした。

では、事務例会の報告をします。

1. 国際投票資格の特例申請をしました。

・会員数が15名に満たないクラブであっても、

①設立後25年経過、②過去3半期5名以上14
名以下の会員数、③会費を完納、④過去3年間連
続して特例措置を受けていない

これらの条件を満たしているため、申請をしました。来年
は④の条件から特例措置は受けられません。

2. 2026-2027年度の行事活動案を再検討し以下のとお
り予定します。

・10月24日(土)中川健太郎氏「インド体験交流プロ
グラム参加報告」

・11月28日(土)ペナン国際大会の報告 担当は新井
壽代さんと利根川恵子さん

・12月26日(土)クリスマス例会 担当は山本剛史郎さ
ん

- ・ 1 月 23 日(土) 太田総主事を招いて、YMCA報告・懇談
 - ・ 2 月 23 日(火祝)YMCAフェスティバル実施 個人参加
 - ・ 2 月 27 日(土)ヨガ体験 井上玲子さん(ヨガインストラクター)
14:00～16:00 ウェスタ川越 3F研修室 3
 - ・ 3 月 27 日(土)バス旅行 担当は利根川太郎と河合今日子さん
 - ・ 4 月 24 日(土)お散歩例会W4W 担当は生川美樹さん
 - ・ 5 月 22 日(土)卓話 福島あしあどキリスト教会牧師大島博幸氏
14:00～16:00 ウェスタ川越予定
埼玉クラブ、所沢クラブ、川越クラブの3クラブ合同例会とする。
 - ・ 6 月 25 日(土)2026－2027 年度の振り返りと次年度計画
3. その他
- ・10 月 10 日(土) 所沢YMCAで実施するユースリーダーズフォーラム参加者報告会には川越クラブから5名が参加します。
 - ・10 月 30 日(金) 埼玉ワイズメンズクラブ 50 周年記念例会には川越クラブから4名が参加します。
 - ・インド体験交流プログラム
- 東日本区では2027年2月13日(土)～26日(金)の派遣を予定しています。参加費は25万円程度の見込みです。
- 次回例会日程は、
- ・日時 2026年10月24日(土)14:00～16:00
 - ・場所 川越YMCA
 - ・インド体験交流プログラム参加報告 中川健太郎氏

「国際ワイズメンズクラブ世界大会ペナン2026に参加 新井壽代

(日時 2026年9月10日(木)～13日(日))
(場所 St Giles Wembley Penang Hotel, Penang, Malaysia)

世界大会はワイズメンズクラブメンバーが、世界それぞれの国、地域で、それぞれの活動を行い、その全てを感じられる、学べる場でした。世界大会への参加は初めてでしたので、これが率直な感想です。

大会終了後に、参加者全員の集合写真を拝見して、
‘I am truly happy to be one of them!’と書き添えました。
この一言に尽きる経験でした。欧米をはじめ、世界、地域65か国からの参加！多くの方々と交流出来ました。主に、タイ、韓国、インド、香港、ノルウェー、ケニア、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、ウガンダ、スリランカなど、さらに日本からの東日本区の方々のみならず、西日本区の方々ともお話しでき、それは楽しく意義深いものでした。

香港大会、熊本大会等では出会ってから親交を深めた方たちとの再会も嬉しいものでした。この方たちの中には、今大会をマージャーとして、支えていらしたタイ、チェンマイ

の方々もいて、そのご苦勞の一端もお聞きました。また、今大会で香港とIBCを結んだミャンマーのライカウワイズメンズクラブメンバーからも食事の合間に、IBC締結の意味、今後の展望なども伺えました。朝食、ランチ、立食パーティーは良き、学びの場で、香港の方からは‘高齢者も子どもも孤独にしない、全ての人々が繋がりをもてるように’とお話を伺い、心動かされました。

基調講演もテーマが興味深い Paul Ong 助教授 ‘Senior Strengths-シニアの強み、尊厳を持って老い、生きがいを持って生きる’でした。データの表示も多く、高齢化社会の典型的な例として、日本があげられておりました。いかに生きるかをあらためて、考えました。

私個人としては、ワイズメンズクラブメンバーとしての日は浅いのですが、視野を広げ、知人友人のネットワークが広がり、感謝しかありません。今大会への参加経験も、今後の活動へつなげられるようにと思っております。

今後、活動の軸にとブルーミュージックについても多く伺いました。ある意味では、YMCAの原点そのものと思えます。共に！ブルーミュージック！

最後に、今大会主催者、スタッフの皆様、サポートとして携わって下さった皆様に深く感謝致します。



国際の舞台から 「同時通訳のブースから」

利根川恵子

2026年9月10日からマレーシア・ペナンで行われた

第 75 回ワイズメン国際協会国際大会に夫と妹夫妻と 4 人で参加することができました。国際大会では、同時通訳のブースで、日本からの参加者のために、英語から日本語への通訳を行うことが多いのですが、今回も、全体会のほとんどは通訳ブースで通訳をするか、パートナーの通訳を支援するかで、ブースにいる時間がほとんどでした。

ワイズメンズクラブ国際協会は基本的に公用語が英語です。従いまして、このような国際大会、研修会、役員会などもすべて英語で行われます。英語の苦手な日本のワイズメンが、十分に参加する目的が達成できるように、東西日本区合同通訳・翻訳チームが大会や会議の通訳を行っています。今回も東日本区からは田中博之さん(東京多摩スマイル)、西日本区から前田香代子さん(熊本ジェーンズ)、田尻忠邦さん(大阪)、岡野泰和さん(宝塚)、小渕直一さん(大阪西)とチームを組み、2 人一組交代で通訳を行いました。

よく、どうして同時通訳ができるのか、という質問を受けます。今回の通訳の場合は、ほとんど事前に原稿または発表資料が入手でき、スピーカーの話の内容を事前に把握できましたので、かなり余裕をもって通訳ができました。ただし、必ずしも原稿通りではありませんので、やはり集中力が必要です。また、質疑応答は全く準備ができませんので緊張しますが、講演の内容を理解しているので、質問や回答も比較的容易に訳すことができます。

次に大変なのは、スピーカーの英語のアクセントです。世界中から集まるメンバーですから、英語がネイティブとは限らず、流暢なスピーチでも個性的な発音やアクセントの方もいます。通訳をスムーズに行うために、最初の 5 分くらいでその個性を理解するように努めます。

いずれにしても、同時通訳は準備が欠かせず、通訳中は気が抜けず、知力、気力、体力の勝負です。しかし、ブースに入り、ヘッドセットを付け、原稿を整えて、ステージを見るときには、適度な緊張感が走ります。私はその緊張感が好きで、できる限り同時通訳を続けていきたいと思っています。



通訳ブースの中で奮闘中。お隣は熊本ジェーンズクラブ・アジア太平洋地域書記・前田香代子さん

リレー随想

「川越まつりの思い出と蔵の町通り」

山崎 純子

10 月といえば川越はお祭り、これは今も昔も変わらない。第 3 土曜日、日曜日は各町内の山車の運営で人々は大

変忙しい。生家が蔵の町通りにあるため半ば義理でこの通りを訪れ冷めた目で山車を眺めるが小さい頃のお祭りの思いではとても懐かしい。

昭和 30 年代は私の小学校時代、この頃のお祭りは 10 月 14、15 日だった。氷川神社の大例祭が 14 日にあり、その後山車を出し、お祭りが行われた。祭りのため小学校は授業は一時間、10 時までに帰宅し、お祭りに参加した。朝、目が覚めるとお囃子の太鼓が聞こえる。ゆっくりとしたテンポで祭りの始まりを知らせ快い響きだ。この音を聞くと飛び起きウキウキとした気持ちで登校したものだ。午前中の山車の曳き回しは子どもが中心だった。遠くまでは行かず近隣を曳き回した。祭りの仕来たりで家事に忙しい母親にせがみ「お母ちゃん、早く着物着せてよー」せかせ、母親は渋々と私と妹に着物を着せた。

子どもの祭り姿は着物にたっつけ袴、花笠を背負い町内お揃いの手ぬぐいを首に巻く。たっつけ袴をご存じですか？それは相撲の呼び出しの人が今も着ている。膝下をし、脚絆のように仕立て袴部分はゆったりと巾があり着物が裾まで入る歩き易い袴だ。着物は持ち前を着たが袴は町内お揃いで私の町は黄八丈の柄だったと思う。中学年の頃までは嬉しくお祭りに繰り出したが高学年になると満たされない気持ちがあった。

町内一回りするとご褒美に菓子をもらう。私の町は現在は幸町だが昔は南町、菓子や横町がある。当然そのお菓子を貰ったが親しい友達は隣の鍛冶町、菓子の老舗があり中身が高級だった。いつも横目で羨ましく思ったものだ。

中学校時代になるとさすがに子どもの祭り衣装は着なかった。若衆姿に憧れ兄の着物を横取りして度々着た。この姿は大人と一緒に曳き回し曳きかわせにに参加し大人の気分を味わった。とりわけ印象深いのは祭りの終わりを告げるイベントだ。最週時、北風が吹き始める中、夜 10 時過ぎ親方の唄う木遣りを、襦袢を引っ掛けて「寒いねー」と言いながら聴いた事は今も心に深く残っている。

その後はお祭りから離れたが町全体も寂れ、町の中心は川越駅付近に移動、商店が次々と閉店したり移住したり現在のシャッター通りのようになった。幼少期は蔵の町通りは車の往来が少なく牛馬が通ったものだ。ある医者には車は使わず馬に乗って往診にいくと聞いた。牛糞、馬糞を踏まないように気をつけて歩いた。昭和 40 年代以後店が次々と無くなり人通りも少なくなると何とも寂しい気持ちになったものだ。

そんな町が復興したのは町の若旦那衆と聞く。経緯はきちんと解らないがその動きが市政に届き、現在のようになったと言う。年々益々観光客が増え inbound の人々が大半を示す通りになった。車は 20 キロくらいの速度で往来し歩道は観光客でいっぱい。しかし嬉しくもあり困りもするこの頃だ。食べ歩きによる汚れ、車道まで溢れる人、人。車の一方通行に地元は大反対だ。不便この上ない。今年のお祭りは市内 26 台の山車が出る。観光客による引曳き回しもあるだろう。

私が一番好きな祭り風景は 14 日夜の宵山だ。夜空に赤々と灯る提灯とお囃子は美しく山車の緞帳や彫りと人形がとりわけ映える一コマだ。何はともあれ年中行事の一つとして祭りは欠かせない。



YMCA報告

河合 今日子

8月より熊本地震支援募金を開始し、9月末で時点で355,760 円の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。各 YMCA からのスタッフ派遣もリレー形式で行われ、埼玉 YMCA からも所沢のフーランが 10/1～10/5 から派遣されました。



<第27回埼玉 YMCA インターナショナルチャリティーラン開催>

今年もチャリティーランの季節がやってきました。

今年は何と、パラリンピックメダリストの富田宇宙さんが来場されます。

是非、ご協力の程、よろしくお願いいたします。エントリーは下記アドレスから↓

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc2G8qv4maPil016AHSm3hPYfSuDtw6pL-CYvK8ypBry88-qQ/viewform>

みなさんから寄せられた支援金は、「子どもたちのためのプログラム」に用いられます。

詳しくは下記をご確認ください。

https://e45607e3-1e2d-4a19-8ed5-76b8a901476f.filesusr.com/ugd/1f785c_2a5d4fca0ac64121adb98dc0f40af586.pdf

編集後記w

やっと秋らしい日々になりました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

今号では“川越祭”について、生き字引の山崎ワイズに貴重な原稿を寄せていただきました。感謝します。今年の川越祭はこの週末、10月17日(土)・18日(日)です。ぜひご覧ください。

私は、10月12日(月)“スポーツの日”は近くの、“イイなパーク川口”の芝生の上に敷いたブルーシート上で、秋の日差しを存分に浴び、教会の仲間とおにぎりをたべながら、ゲームなどを楽しみました。11月3日は、第27回埼玉 YMCA 主催のチャリティーランが所沢航空公園で開催されます。走らなくても、ウォーク・見学も歓迎です。秋の一日を、太陽の日差しの下で過ごしましょう。私も参加予定です。

(KY)

